

目標（6）

産業を活性化して、 まちを元気にします



▲高浜港駅新駅舎

I. 目指す姿【PLAN】

目標達成に向けての考え方	働く場や消費の場として市民の日常の暮らしを支え、まちの活力を生み出す基盤である産業（農業・商業・工業など）を活性化するため、現場のニーズをふまえた振興策や、事業者やまちの強みを伸ばす取組みを応援していきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 事業者やまちの強みを活かした産業活動が、活発に行われています。 ◇ 新たな雇用や消費が生まれ、市民生活の基盤が安定しています。 ◇ まちの元気を生み出そうと、意欲を持った市民や団体が、ビジネスの手法による地域課題解決や活性化に向けた行動を起こしています。 ◇ まちの魅力や自慢が市内外に知られ、高浜市で過ごす時間を楽しむ人が増え、賑わいや活気が生まれています。

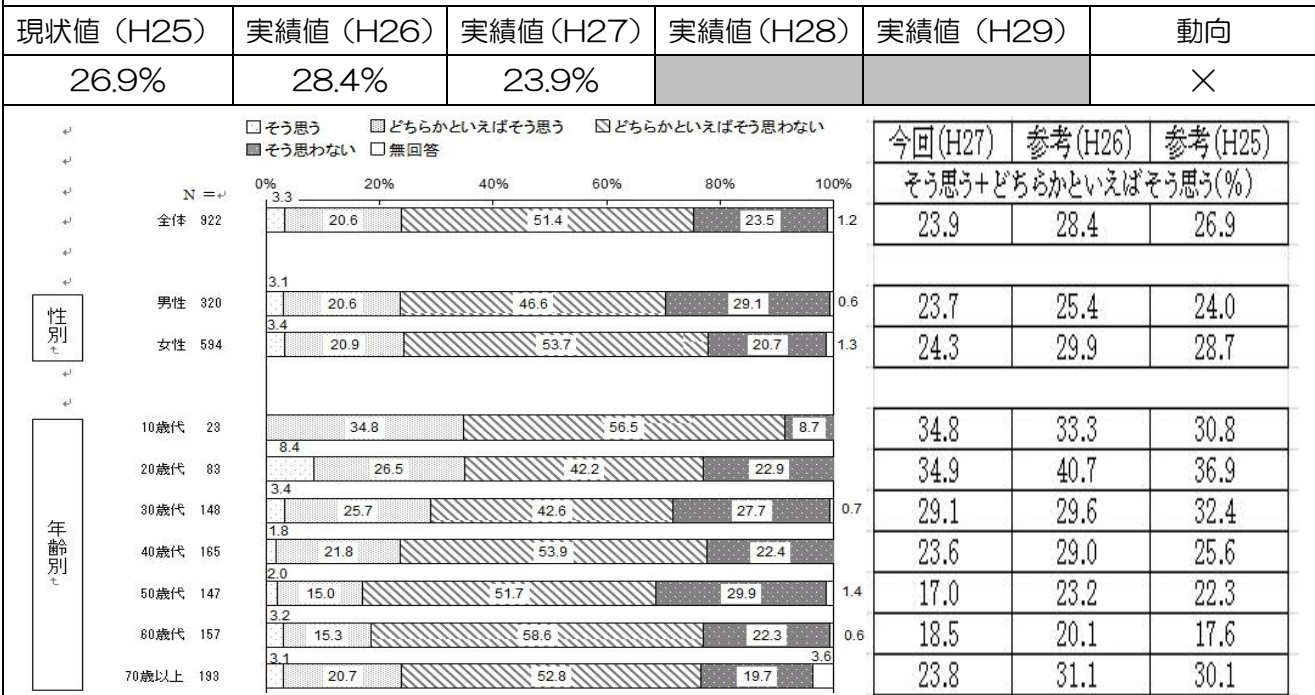
II. 目標達成のための主な取組み【DO】

こんなことに取り組みます！	何を・どのように・どうした	いつ
（1）行政内部や関係機関との連携を強化し、新たな工業用地の創出や企業誘致を進めます。	①市東部地区の工業用地創出に向け、関係機関と協議した。	H27.4～
	②市北部地区の整備構想策定業務委託を専門業者に発注し、土地所有者に対する意向調査の内容について協議した。	H27.7～
	③愛知県企業庁が市東部地区の開発を公表した。	H28.3
（2）事業者・関係機関との連携を強化し、現場のニーズをふまえ、産業の活性化、雇用の安定に向けた取組みを進めます。	①公共建築物等三州瓦屋根工事奨励補助金により高浜港駅舎の新築駅舎に瓦が使われるよう名鉄と協議し、建設につなげた。	H27.4～
	②農地の多面的機能発揮促進事業として、地元こども会・町内会と連携し高取みどり会が落花生植栽会を開催した。	H27.5
	③ふるさと名物応援宣言で三州瓦を応援した。	H27.9
（3）コミュニティ・ビジネスの創業や持続的な経営に向けた支援を行います。	①地域においてコミュニティ・ビジネスを創業しようとするチャレンジャーの発掘に取り組んだ。	H27.5～
	②創業したチャレンジャーの不安解消支援（フォローアップ）を行った。	H27.11～
	③チャレンジャーの未来予想・理念形成の確認をした。	H27.12
（4）自然・伝統文化・施設などの地域資源をつなぎ、市民・事業者・関係機関とともにまちの魅力を高め、賑わいの創出や交流人口の拡大に向けた取組みを行います。	①鬼みちまつりアンケートの実施（対象：来場者・出展者）をした。	H27.10 H28.2
	②B-1グランプリなど市外の高浜市PRイベントに参加し、高浜市をPRした。	H28.3
	③西三河広域観光協議会にて Web ガイドによる周遊ルート作成システムを作成した。	H28.3
参画・協働・情報共有の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ☆市東部地区の事業スケジュールを関係者や市内の金融機関に情報提供した。 ☆農家だけでなく、こども会や町内会と連携し、植栽をした。 ☆高浜市観光協会および鬼みちまつり実行委員会の会議に参加し、市民の自主性を尊重し、かつ、観光事業が行政からの丸投げにならないよう配慮した。 	

Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】

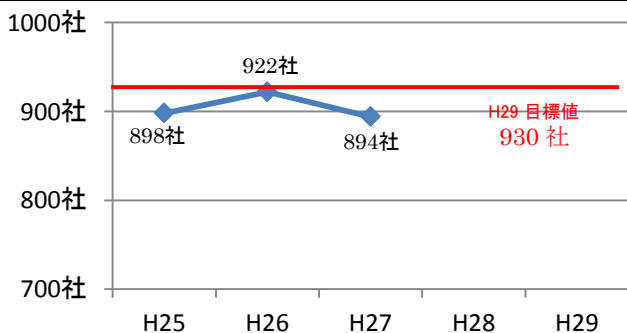
1. 市民意識調査結果

【設問】産業が活性化して、まちが元気になっていると思う

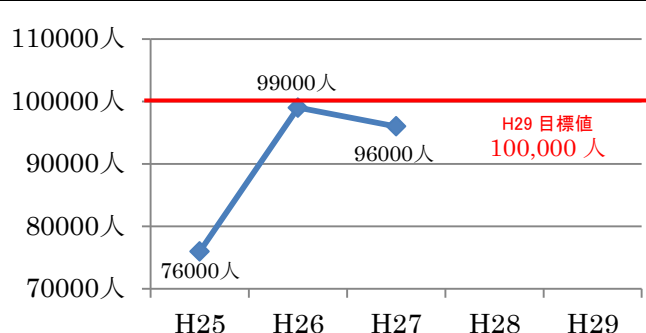


2. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

1) 市内の法人数



2) 行政がかかわるイベントの来場者数



3. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する分析（要因・課題等）

- ・指標1)「市内の法人数は、昨年度と比較して 28 社減少した。これは昨年度の事業所の抽出条件が「確定申告をした述べ法人数」であったことによる。策定当時の法人数は 898 社であり、窯業関係の事業所の減少が目立ち、策定当時と比較すると 4 社減少している。
- ・指標2)「行政が関わるイベントの来場者数」（鬼みちまつり来場者数、かわら美術館来館者数）は、昨年度と比べて 3,000 人減少した。内訳としては鬼みちまつりの減少分であるが、平成 26 年度は 3 回開催しており、2 回開催の平成 27 年度が 3,000 人減少にとどまったことは全体の来場者数の増加によるものと分析している。
- ・市民意識調査、みんなで目指すまちづくり指標ともに下降しており、市民意識調査の結果としては、景気上昇の恩恵を大手企業ほど中小企業が受けていないことに起因すると思われる。指標については工業立地などの積極的な企業誘致を行うとともに、中小企業に対する資金調達に対するセーフティネットを堅実に行うことで法人数の増加を目指すとともに、若い世代がまちの活性化に寄与する仕組みづくりを充実させることで、世代全体でまちがげんきになっていると実感できる取組に注力していく必要がある。

IV. 課題と今後の取組み【ACTION】

課題	課題解決に向けた新たな取組み（案） 見直し・改善（案）	いつまでに
<p>（１）新たな工業用地の創出に向けた協議・調整の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 第6次高浜市総合計画の土地利用方針に基づいた新たな工業用地を創出するため、企業ニーズを把握しながら、関係機関と協議・調整を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 市東部地区の工業用地の創出に向け、愛知県企業庁と造成工事の着手に向けた協議・調整を実施する。 	H28.12
	<ul style="list-style-type: none"> 市北部地区の工業用地の創出に向け、早期事業着手を目指し、関係機関と協議・調整を実施する。 	H29.3
<p>（２）地場産業の三州瓦の販売方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本地震など、震災の度に報道される瓦の風評被害を払しょくする対応を検討するとともに、瓦の伝統性を生かした商品開発やブランド化の支援を行い、屋根瓦の優位性やデザイン性のPRをする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「みんなで三州瓦をひろめよう条例」に基づき、三州瓦屋根工事等奨励補助金の対象を外構やガーデニング等にも拡大し、三州瓦の利用拡大及び普及の促進に努める。 	H29.3
	<ul style="list-style-type: none"> 見本市や飾り瓦コンクール、展示会と言った販路拡大に向けた事業に対し、引き続き支援を行い瓦材の良さを知ってもらう。 	H29.3
	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと名物応援宣言や伝統的工芸品認定など国の支援を活用し、販路拡大・新商品開発の推進による「瓦のブランド化」を業界が行うことに対し支援する。 	H29.3
<p>（３）高浜市の魅力を高め、活性化への動機づけを図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域・事業者・関係団体と連携し、文化や伝統、特産品や名産品を集約して継続したPRを行い、新たな観光資源の発掘や今ある資源をつなげることで市民の高浜への愛着を「誇り」に変化させ、「わがまち高浜」を自慢できる市民を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 鬼みちまつりの運営を支援するため、職員による運営支援や関係機関との調整を引き続き行う。 	H29.3
	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内所創造委員会へ参加し、新たな観光資源の発掘等支援を引き続き行う。 	H29.3
	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会が実施する地域資源と観光を結びつける取組みや、観光資源の発掘を目指して行う事業に対する支援を引き続き行う。 	H29.3
<p>参画・協働・情報共有の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆市東部地区や市北部地区の進捗状況を、関係者や市内の金融機関に情報提供し、企業のニーズを把握する。 ☆業界が責任を持って実施する販売促進事業に対して、相談を受けながら、より効果的なPR・戦略となるように助言を行いながら支援を行う。 ☆高浜市観光協会および鬼みちまつり実行委員会の会議に参加し、メンバーと活動内容の情報共有を行うことで、自主性を尊重し、かつ、観光事業が行政からの丸投げにならないよう配慮する。 	

V. 第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果【CHECK】

II. 目標達成のための主な取組み【DO】に関して

•

★第2回（7/22）・第3回（8/5）推進会議での担当グループからの発表を聞いた上で、各委員からいただいたご意見を記述する。

•

以下同様

III. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】に関して

•

•

IV. 課題と今後の取組み【ACTION】に関して

•

•

その他、目標の達成に向けて

•

•